

# 徒然草『丹波に出雲といふ所あり』定期テスト対策問題 | 現代語訳・文法・内容の頻出設問と解答

組 番 氏名

/100点

## 本文

丹波に出雲といふ所あり。大社を移して、めでたく造れり〔①〕。しだの某とかや〔②〕しる所なれば、秋のころ、聖海上人、その他も人あまた誘ひて、「いざ給へ〔③〕、出雲拜みに。かいもちひ召させん〔④〕。」とて、具しもて行きたるに、各々拜みて、ゆゆしく〔⑤〕信おこしたり。

御前なる獅子・狛犬、背きて、後さまに〔⑥〕立ちたりければ、上人、いみじく感じて、「あなめでたや〔⑦〕。この獅子の立ち様、いとめづらし。深き故あらん〔⑧〕。」と涙ぐみて、「いかに殿ばら、殊勝の事は御覧じとがめずや〔⑨〕。無下なり〔⑩〕。」と言へば、各々怪しみて、「まことに他に異なりけり。都のつと〔⑪〕に語らん。」など言ふに、上人、なほゆかしがりて〔⑫〕、おとなしく〔⑬〕、物知りぬべき〔⑭〕顔したる神官を呼びて、「この御社の獅子の立てられやう、定めて習ひある事に侍らん。ちと承らばや〔⑮〕。」と言はれければ〔⑯〕、「その事に候ふ。さがなき〔⑰〕童べどものつかまつりける〔⑱〕、奇怪に候ふ〔⑲〕事なり。」とて、さし寄りて、据ゑ直して、往にければ、上人の感涙いたづらに〔⑳〕なりにけり。

## 設問

- 傍線部①「造れり」の「り」の基本形・文法的意味・活用形を答えよ。また、この助動詞の接続のきまりを簡潔に述べよ。
- 傍線部②「とかや」の後には、ある語が省略されている。補うのに最も適当な語を終止形で答えよ。また、このような現象を文法的に何と呼ぶか。
- 傍線部③「いざ給へ」を現代語訳せよ。
- 「かいもちひ」とはどのような食べ物か。
- 傍線部④「召させん」について、「召す」はもとの語「食ふ」に対してどのような敬語か。また「せ」「ん」の文法的意味をそれぞれ答え、全体を現代語訳せよ。
- 傍線部⑤「ゆゆしく」のここでの意味を答えよ。また、「ゆゆし」という語の本来の意味を簡潔に述べよ。
- 「信おこしたり」の「信」の読みと意味を答えよ。
- 傍線部⑥「後さまに」の読みと意味を答えよ。
- 獅子・狛犬は、ふつうはどのように据えられているか。本文での据えられ方との違いがわかるように説明せよ。
- 「いみじく感じて」の「感じ」のここでの意味を答えよ。
- 傍線部⑦「あなめでたや」を現代語訳せよ。また、「めでたし」の意味を答えよ。
- 傍線部⑧「深き故あらん」の「ん」の文法的意味を答え、全体を現代語訳せよ。

13. 傍線部⑨「御覧じとがめずや」の「御覧じとがめ」は、ある語の尊敬語である。もとの語を答えよ。また、文末の「や」の文法的働きを指摘したうえで、全体を現代語訳せよ。
14. 傍線部⑩「無下なり」の意味を答えよ。
15. 傍線部⑪「つと」の意味を答え、「都のつとに語らん」を現代語訳せよ。
16. 傍線部⑫「ゆかしがりて」のもとになっている形容詞「ゆかし」の意味を答えよ。また、ここで上人は何を「ゆかし」と思ったのか。
17. 傍線部⑬「おとなしく」の意味を答えよ。現代語の「おとなしい(＝静かだ)」と区別して答えること。
18. 傍線部⑭「ぬべき」を文法的に説明せよ(それぞれの助動詞の基本形・意味・活用形を含めること)。
19. 「物知りぬべき顔したる神官」を現代語訳せよ。
20. 傍線部⑮「承らばや」について、「承る」の敬語の種類ともとの語、「ばや」の文法的働きを答え、全体を現代語訳せよ。
21. 傍線部⑯「言はれければ」の「れ」の基本形と文法的意味を答えよ。また、その意味だと判断できる理由を簡潔に述べよ。
22. 傍線部⑰「さがなき」の意味を答えよ。
23. 傍線部⑱「つかまつりける」の「つかまつり(仕る)」は、ここでは何の謙讓語として使われているか。意味とあわせて答えよ。
24. 傍線部⑲「候ふ」の敬語の種類と、誰から誰への敬意かを答えよ。
25. 傍線部⑳「いたづらに」の意味を答え、「上人の感涙いたづらになりけり。」を現代語訳せよ。
26. 上人の感涙が「いたづらに」なったのはなぜか。話の結末(オチ)がわかるように説明せよ。
27. この章段で作者は、聖海上人のどのような態度をおかしみの種として描いているか。簡潔に説明せよ。
28. 【文学史】この作品の作者名・成立した時代・文学のジャンルを答えよ。また、この作品とともに「古典三大随筆」と呼ばれる残り二つの作品名と作者名を答えよ。